

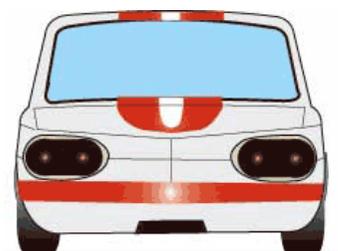
2021 Calendar

日野コンテッサ PD300-103308の軌跡 1966~2020

日野コンテッサ1300クーペ“L”

1966年、コンテッサは対米輸出に向けて南カリフォルニアの小型セダンレースに挑戦、タイムズGPでの優勝戦歴を残した。1967年シーズンは更なる戦力としてFIA#1444ホモロゲを得た軽量化クーペ、だが日野自動車はコンテッサの市場撤退を決断！その後、半世紀以上経た今も競技の場に挑戦し続けている。

(切り取られた自動車文化史 - 日野コンテッサ)



Created by HinoSamurai.org

The owner of HinoSamurai.org own the copyright of the content of this calendar.

ビギナーズジムカーナin筑波 2020第1戦
雨にも負けず！旧車は走ってこそ (2020.2)

2020年2月



1968年3月



1968年3月23日 第10回日本スポーツカー富士
300キロレース大会 ドライバー：山西 喜三夫
事実上、これが日野としての最後のレース

2021. 

Ver. 2021.1.1

January & February - 2021

	S	M	T	W	T	F	S
1						1	2
2	3	4	5	6	7	8	9
3	10	11	12	13	14	15	16
4	17	18	19	20	21	22	23
5	24	25	26	27	28	29	30
6	31						

1966年 FIA ホモログ申請 & 1967年シーズンに期待、頓挫！

1966年、日野自動車はコンテッサの競技専用車を開発、FIAにホモログ申請、1967年初頭認可となった(右)。

1967年シーズンの米国セダンレース、**チームサムライ** (@BRE) は活躍が期待され、軽量ボデー二台 (**P・ブロック** & **R・ダンハム**) と1966年車 (一般公募) の三台体制を組んだ (#55がPD300-103308)。

しかし、**コンテッサ市場撤退**で米国市場開拓のレース活動は頓挫した！



2	S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28						



A Collection of S. Ezawa

March & April - 2021

3

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1968年 最後の檜舞台 - Fuji 300Km & 東京レーシングカーショー

1967年3月米国で活動停止したが日本市場の日野車ユーザー向けにPD300-103308は帰国し、1968年3月末まで競技活動を続けた(表紙&右)。

1968年3月開催の第10回日本スポーツカー富士300km(右)と第一回東京レーシングカーショー(晴海国際展示場、下)が日野自動車のパブリシティのフィナーレとなった。



1968.3.23 @Fisco Fuji 300km

4

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	



1968.3 1st Tokyo Racing Car Show

60年代街角で見たクルマたち 浅井貞彦写真集より

May & June - 2021

5

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	7	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	24	26	27	28	29
30	31					

1968 -1977 プライベーター@FISCO & 筑波サーキット

日野自動車の手を離れたPD300-103308、1968年4月以降はプライベート (R・ダンハム@HPE) としてFISCOを中心に競技を続けた。ほどなく個人の手に渡り、2座クーペとして新車登録された。

1976年、現オーナーの元に。その後、筑波サーキット 1977年4月の3rd TACS CCFのリバイバルフナバシに出走した (下)。

●コンテッサ 50万



サスペンション：ポートブロック ミッション：5速FISCO用

From Autosports 1969.1

6

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			



1977.4.24 3rd TACS Speed Feastical

July & August - 2021

7	S	M	T	W	T	F	S
					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

1980~1990年代 つくばサーキット&東京モーターショー

PD300-103308は、旧車黎明期の1980年代半ばからTACSスピードフェスティバル（JAF公認）に日野ワークスのエースだった山西喜三夫と積極的に参戦。

1995年の第31回東京モーターショー（10月27日～11月8日@幕張メッセ）では“時代を駆け抜けたレーシングカーたち”に名だたるマシンと共に並んだ（右）。



8	S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					31



September & October - 2021

9	S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		
10	S	M	T	W	T	F	S
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

2001-2015 新生コンテッサ - リノベーション&公道復帰

1995年以降、活動の一時休止、PD300-103308は2001年から更なる進化のために大胆なリノベーションを進めた。

完成後、改善点の走行試験・検証&熟成のために各地の展示イベントに参加。

幸運にも、ブルー熱海イタリアではグランプリ (総合優勝)、横浜ヒストリックカーディでは **Best Competition Car** の大賞となった。



2015.5.24
BULE ATAMINO ITALIA 2015



2014.11.8 Yokohama Historic Car Day

November & December - 2021

11	S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

12	S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

2016～“静”から本来の“動”への復帰&チャレンジ

2013年のリノベーション後の活動は、展示イベントでの謂わば“静”、2016年、**PD300-103308** 本来の“動”の本来の姿へと、つまり競技イベントに復帰した。

ドライバー年齢+車齢=116歳(当時)、個人で楽しみ、クルマにとっても負担が軽いジムカーナに場を求めた。

Zummy Racing Familyのビギナーズジムカーナin筑波。旧車の場ではなかった現代車の中に飛び込んだ。しかし、それは決して簡単な世界ではなかった！



2016.2.24 ビギナーズジムカーナin筑波 2016 第1戦

日野コンテッサ PD300-103308 - 思い出のアルバム



HinoSamurai.org